

～市政のここが聞きたい～

市民のみなさんの暮らしをより良いものにするため、市に対して質問を行いました。主な内容をお知らせします。

全ての一般質問を  
動画で視聴できます

箕面市議会

検索



動画の内容は公式記録ではありません。



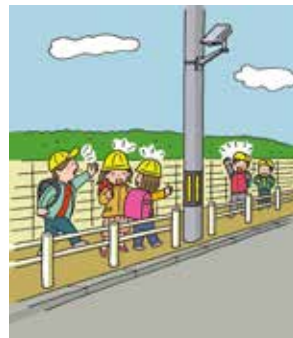
防犯カメラ設置増強と課題

大阪維新の会 箕面  
武智 秀生



問①全通学路への防犯カメラ設置が完了した昨年3月以降の成果と子どもの安全確保に向けた現状は。②子どもなどを狙った悪質な不審者事案が市内で多発する中、抑止効果向上の取り組みは。③プライバシーに配慮したカメラ設置と厳正な画像管理のための運用要領作成や職員の日常教育は。

答①街頭犯罪件数は前年比で減少し、カメラ映像活用による事件検挙実績もある。②映像による犯人検挙の情報などを発信しており、今後も箕面警察署と連携して取り組む。③要綱では映像利用は市民の安全に関わる目的に限定。担当職員には映像の取り出しやパソコン管理を徹底させている。



空き家対策について

自民党市民クラブ  
永田 義和



問 内閣府の世論調査によると、地域に悪影響を与える空き家については、公的措置をとることに一定の期待感が持たれていることが分かった。本市でも高齢化により空き家が増加している地域があると思われるが、破損が進むと倒壊などにより地域の安全が脅かされるのみならず、景観も損なわれる。空き家対策特別措置法に基づく対策も含めた本市の空き家対策への取り組み姿勢を問う。

答 法が完全施行されるまでは、空き家に起因する苦情があっても、市には直接指導する権限がなかった。今後は、環境や建築、防災などの関係部署がこれまで以上に連携し、法に基づく指導などを行いながら、問題の根本的解決をはかっていく。また、本市は人口の増加傾向が続いており、引き続き住み手に選んでもらえるまちづくりを進めることが、空き家の有効活用にもつながると考える。

西南公民館建て替えまでの市民参加の在り方

箕面政友会  
内海 辰郷



問①住民への周知が不十分と感じるが、橋本市政時代からの市民参加手法を意識されたのか。②公民館利用者による瀬川中公園への移設案と近隣生活者などによる現地建て替え案が対峙しているが、行政は、生活者の意向を尊重して現地建て替えを決断すべき。円満に理解を得るために、完成までの1年間は近隣施設の活用で利用者に配慮しながら、すばらしい施設の早期建設を願うが、見解は。

答①基本構想策定に係る懇話会に幅広く参加いただき、近隣住民に検討過程の報告機会を設けるべきだったと大いに反省している。②両案のうち、いずれにするかを判断する時期が来るまでは、関係者のさまざまな意見を幅広く聞いて理解を深めることが重要と考えている。地域の誇れる施設と評価されるように、地域を回り丁寧な説明を行うなど汗をかきながらしっかりと調整していきたい。



校庭の芝生化について

自民党市民クラブ  
中井 博幸



問①校庭を芝生化した学校などの子どもたちや保護者、地域の人たちの評判は。②芝生を管理する校務員を繁忙期だけでも増員できないか。③芝刈り機の補修や芝生化により水はけが悪くなった運動場の排水工事、高低差の修復など、毎年、管理費用がかかるが、これらを踏まえ今後の展開は。

答①水はけが悪いなどの課題はあるが、おおむね理解を得ている。②必要に応じ校園務支援チームを派遣しているが、繁忙期を意識した派遣も検討する。③安価な工法の検討や機材の買い替え時期を見極め適宜予算措置を講じ、今後も、子どもたちが芝生を活用できるよう適正な維持管理に努める。



全市一斉総合防災訓練について

大阪維新の会 箕面  
神代 繁近



問①本年度で4回目を迎える「全市一斉総合防災訓練」。過去の反省を踏まえた本年度の取り組みは。②昨年の訓練への自治会参加率は70%であるが、市民の自治会加入率は約50%にとどまる。自治会加入促進などの取り組みは。③訓練の中心となっている地区防災委員会は、自助・共助・公助のバランスをとり、地域防災の担い手として新たな地域コミュニティを醸成している。訓練の将来像は。

答①日曜日開催となり、幅広い世代の参加を促す訓練や催しを予定。また、サイレンを望む多くの意見があり、本年度は鳴らすこととする。②開発事業者への自治会発足指導、転入者への加入案内、広報紙やホームページでのPRなどで啓発に努める。③今後も同委員会への積極的支援と連携に努め、阪神・淡路大震災の教訓を風化させないよう1月17日の訓練を息の長い取り組みとしていく。

第五・六中学校の校舎改修について

大阪維新の会 箕面  
尾上 克雅



問 本市は、平成23年3月末に府内初の全市立小・中学校・幼稚園の耐震化率100%を達成し、併せて校舎改修工事も行われたが、第五・六中学校は耐震化基準内のため対象外だった。外壁・内壁とも築30年以上経過してかなり汚れており、開校当初からある放送機器やエアコン、照明器具などの劣化も進んでいる。校舎の美装化や機器の更新など良好な教育環境の整備を望むが、今後の予定は。

答 国の緊急経済対策の活用でトイレの美装化は実施したが、校舎の老朽化や設備の故障が増加している。今後大規模な改修などを計画的に進めることを検討する時期が来ていると考えているが、多額の費用が必要となるため、まずは補助金などの財源確保に努めるとともに、実施の際には年次計画を立て、整備費用の平準化をはかりながら、計画的な改修と施設の美装化に取り組んでいきたい。



# 一般質問

## 公園の管理・利用促進の課題と今後について



箕面政友会  
川上 加津子

**問** ①公園の清掃や、遊具の点検などの管理を住民や団体に任せているが、自主管理者の責任範囲と交付金の基準は。②桜井公園は、清掃は行き届いているが景観を損なう掲示物が多い。早急な改善を求めるが、見解は。③ラジオ体操が行われている公園から、順次、健康器具を設置してはどうか。

**答** ①市が日常的な管理メニューを設定し、その中から団体が作業を選択している。交付金は公共施設等市民自主管理活動支援要綱に基づき、活動内容ごとに単価を定めている。②掲示物の表現など再考する必要があると考えており、自主管理活動団体と改善に向けた調整を進めている。③既に設置済みの公園の利用実態の検証や他市の事例を参考にしながら、進めていきたいと考える。

**他に** 子どもの居場所(学童保育・自由な遊び場開放・居場所づくり・新放課後モデル事業)について

## 原発事故による避難者受け入れ態勢について



無所属  
増田 京子

**問** ①原発事故発生時の避難計画が不十分な中、高浜原発も再稼働に向けて進んでいる。原発がある限り避難計画は必要だが、関西広域連合のガイドライン策定状況は。また、それに基づき避難計画はどう進められているのか。②本市は滋賀県高島市マキノ町より1,061人を受け入れるとガイドラインにあるが、問題は解決できているのか。③高島市からの避難者受け入れ計画の具体的な全体像は。

**答** ①ガイドラインは平成26年3月に策定されたが、避難計画などについては、同連合や府と具体的な協議がされていない。②ガイドラインなどで、避難経路やスクリーニング\*の実施体制などが定められているが、同連合や府と未協議のため、その動向に合わせて対応する。③避難者受け入れについて同市と協議ができていないため、詳細は関西広域連合や府と調整の上で同市とも協議を進める。

## 女性と子どもの施策について



公明党  
田中 真由美

**問** 母子健康手帳の交付について、総合保健福祉センターで申請した場合は、保健師の面接があるが、本庁や支所では妊娠届出書で相談を希望した場合のみ、保健師と面接している。本庁では子ども総合窓口での面接や相談が必要と考えるが見解は。

**答** 現在、妊娠期における個別相談は、手帳交付時以外でも必要に応じ、保健師が電話や面接などで対応している。専門知識や医療との連携が必要となることが多く、本庁で対応しても、後日、保健師が連絡すると推測されるため現体制を継続したい。

**問** 5歳児の保育所入所児童に対しては、保護者が育休期間に入っても保育継続が必要ではないか。

**答** 現に入所の児童は、生まれた子が1歳6カ月になるまで保育を継続しているが、5歳児に限り事情を聴取し、特例的にそれ以降も継続を認めている。

**他に** 産後ケア事業、保育付きがん検診について

## 子どもの貧困対策を問う



無所属  
中西 智子

**問** 格差拡大の中、子どもの貧困対策が喫緊の課題だが、①現状把握や実態調査の考え②子どもの貧困の連鎖を根絶するための検討状況③貧困世帯の子どもの思いを受け止め、寄り添うことができる体制づくりの必要性④就学援助基準の緩和や進学支援の充足、「子ども食堂」など市民協働の場の拡大策について市の見解を問う。

**答** ①子どもや家庭の状況把握を行っており、切れ目なくトータルに実態をつかむことが必要と考えている。②教育の果たす役割は極めて大きく、現在、関係部署と検討を進めている。③今後、国の指針を参考に施策の検討を進める。④学力保障、学習支援が重要であり、状況把握の仕組みづくりを優先して取り組む。また、地域やNPOとの協働が求められており、その広がり期待している。

**他に** 人権を大切にすまちをめざして

## 市民がともに考える情報提供の環境づくりを



無所属  
北川 照子

**問** 市長は、重要な施策や方針を決める時、専門家や学識経験者、関連事業者や関係団体、市民などから委員を選考して審議会などを開き、諮問をして、意見を求めている。それらの案件の内容や経過が多くの市民に伝わり、ともに考えられるように広報紙など情報提供の環境づくりを検討してほしい。市民との課題共有のために、諮問内容、課題に対して、周知、広報をどのように行っているのか。

**答** 審議会などの内容の周知、広報については、ホームページなどで開催の周知を行うとともに、原則として会議を公開している。また、開催後もホームページで会議概要を掲載し、行政資料コーナーには会議資料を設置している。今後、会議の開催日や審議項目を、広報紙に可能な限り掲載するよう努めるとともに、各審議会などの会議結果の情報提供の在り方も検討していく。



\*スクリーニング…放射性物質による汚染を放射線測定器を用いて測定し、ふるい分けすること。基準値以上であれば、除染などが必要になる。

## 日常生活支援総合事業でのサービスの確保を



日本共産党  
名手 宏樹

**問** 4月から開始されている介護予防・日常生活支援総合事業での要支援者へのサービス提供は本人、家族、ケアマネジャー、市の理学療法士などが参加する自立支援型担当者会議で決定している。現在は対象者が50人程度なので、きめ細やかな対応がされているが、今後対象人数が大幅に増えることが予想される。サービス提供の体制確保についての見解は。

**答** 平成28年度からは、新規の申請者と要支援認定更新者のうち、日常生活動作の改善が期待できるかたは、自立支援型担当者会議で、引き続きサービスメニューを決定していく。それ以外のケースは国のガイドラインを基本に、専門型や緩和型などのサービス利用基準を作成し、地域包括支援センターの職員やケアマネジャーが、サービスを調整できる体制を構築する。

## 箕面東公園園地の整備について



日本共産党  
神田 隆生

**問** 「箕面東公園環境影響評価」では、地域住民の生活に関わる里山植物が多く残されており、身近なところで、農耕の歴史文化を自然に体験できる場の必要性や里山公園としての意義が述べられている。環境影響評価から27年、公園として開設してから14年、改めて適切な管理と活用で、この里山の植生の保全と上下水道用地を含めた園地の一体的な整備を求めるが見解は。

**答** 寄附をいただいた土地や上下水道局が管理している土地は、箕面東公園が市街地内に残る貴重な里山の竹林を生かし、豊かな自然を可能な限り残すことを基本としていることから、現時点では大がかりな改変を行う予定はない。里山の植生の保全については、市と所有者がそれぞれ管理に努めており、特に公園開設部分の竹林については地元の竹林会に適切に管理していただいている。